

# 商業の町那波のまちなみと商港那波浦 (約6 Km)



4.那波村道路元標



3.那波荒神社



2.狐塚古墳跡



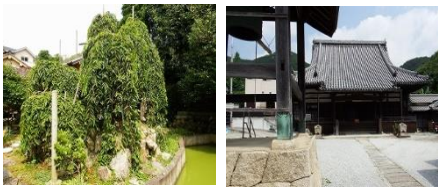
1.道標



7.豆煎り荒神



6.孝行井戸



9.得乗寺



8.大井戸



10.那波八幡神社

那波八幡神社

10

那波小学校 豆煎り荒神

7

得乗寺

9

神崎与五郎孝行井戸

6

大井戸

8

馬つなぎ石

15

三木家跡

14

田中家跡

15

大島山石仏

19

大島地蔵尊

20

善光寺

18

住吉神社

17

大島山 (大島城跡)

16

播磨病院

シバナ群落

13

那波大避神社

12

造船所旧社宅

11

ひょうたん池

5



13.シバナ群落



21.唯然地蔵



19.大島山石仏



20.大島地蔵尊



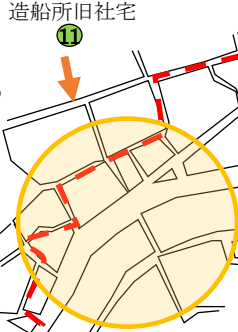
16.大島山



18.善光寺



14.三木家 15.田中家 (1963年頃)



造船所旧社宅

11

那波大避神社

12

三木家跡

14

田中家跡

15

大島山石仏

19

大島地蔵尊

20

善光寺

18

住吉神社

17

大島山 (大島城跡)

16

播磨病院

シバナ群落

13

那波大避神社

12

造船所旧社宅

11

ひょうたん池

5

馬つなぎ石

15

大井戸

8

得乗寺

9

豆煎り荒神

7

那波八幡神社

10

那波村道路元標

4

狐塚古墳跡

2

那波荒神社

3

道標

1

相生警察

相生駅

道標

狐塚古墳跡

明顕寺

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21



# 商業の町那波のまちなみと商港那波浦



## 5 ひょうたん池周辺 :



【1931年頃（昭和6年頃）】

【2013年（平成25年）】

■ 問屋	■ 交通業（荷車・人力車）
■ 卸売	■ 船主
■ 仲買	■ その他（旅館・理容・医院・問酒店）
■ 小売	■ 製造業（醤油・畳・紙屋）
■ 行商	■ 農業



明治15年ごろの家屋の職業分布図（相生市史より）

5 左上の写真中の左の屋敷は岡田酒造店。自動車がとまっているところが那波銀行。このあたりには瀬戸物屋、米屋、布団屋、傘屋などが並んでいたという。

「ふるさと相生の二十世紀写真集」  
左に見える井戸は元禄時代に掘られたといわれている。その昔、村人の生活用水、酒・醤油づくりとして広く使われたが、今は防火用水となっている。

「相生ふるさと散歩」  
水をくみ上げた直後だろうか、井戸の周りがぬれている。

1 道標：「是より右さいこくみち、是より左あかほ城下道」と記されている。この道標は、江戸時代に作られ、普光沢川と鮎婦川との間の赤穂街道分岐点にあったが、道路の付け替えなどのため現在の位置に移設されたもの。大田南畝の小春紀行によると、1805年当時にこの道標があったと記されている。

2 狐塚古墳跡：産業会館の敷地内にあり、横穴式石室をもつ単独墳のうち、相生市でも古いとされていたが、産業会館の建設で消滅した。

3 那波荒神社：古宮荒神社とも呼ばれ、この近くまで海だったと言われている。

4 那波村道路元標：大正8年の旧道路法で各市町村の起点として1個ずつ設置するとされていた。

6 神崎与五郎孝行井戸：神崎与五郎が神のお告げを受けて、この井戸水で眼病の母親の目を洗うと不治の病が治ったという伝説が残っている。

7 豆煎荒神：神功皇后の三韓征伐ゆかりの神社。赤地の鼻にあったが平安末期に移設、再建したと言われている。

8 大井戸：村人の生活用水、酒・醤油造りに使われていた。

9 得乗寺：16世紀に寺号を許可されたお寺で、和泉式部ゆかりのしだれ栗の木がある。

10 那波八幡神社：那波浦の郷社で文治2年（1186）創建と伝わる市内有数の神社。

11 西出社宅：大正の初め市内のあちこちに社宅が建てられた。那波でも丘の台、西出町に社宅が並んだ。造船所と社宅は「相生に行けば仕事と家がある」と人々をひきつけ相生は流入者の多い都会型の住民構成となった。  
「ふるさと相生の二十世紀写真集」

12 那波大避神社：秦河勝を祀る。創建年不詳。天正7年兵火により焼失。同8年田中為規が再建。その後損壊したため為政が三建。現在の社殿は昭和14年に改築された。境内の一隅に「和寇八幡船」と彫った五輪塔があったが今はない。  
「相生ふるさと散歩」

13 シバナ群落：相生市指定天然記念物（昭和58年3月31日指定）：塩沼地に生育する多年草の植物。このシバナ群落は、淡水がまざり満潮時には水没し、干潮時には干潟となるような場所で生育する。瀬戸内海地域では広島県の宮島と当地のみで大変稀少価値のある植物のひとつ。  
「相生市教育委員会」

16 大島城跡：大島山は蝦江（相生湾）に浮かぶ美しい島であった。那波新田を開墾した際陸つづきとなった。遺構として東側に犬走りが残っており、北側には三段階の腰曲輪と帯曲輪が認められる。  
「相生ふるさと散歩」

17 那波住吉神社：三筒男之命を祀る。1464年（寛政5年）創建。明治初期大島に遷座。  
「相生ふるさと散歩」

18 善光寺：大島城主・海老名家の菩提寺として興隆。平成12年より全国善光寺めぐりの札所の一つとして、「相生の善光寺」の愛称で全国各地から参拝にくる。「善光寺案内板」

19 大島山石仏：大正時代末、那波の有志によってつくられたもので、西国三十三カ寺の巡拝の代参仏になっている。  
「相生ふるさと散歩」

20 大島地藏尊：右側は大正時代に建てられたもの。左側は元高取峠にあったものを移したといわれる。眼病にかかった一婦人が参拝のおかげで眼病が完治し、こんなご利益がある地藏ならば、高取では遠方で便利が悪いので、この地に移したといわれる。  
「相生ふるさと散歩」

21 唯然地藏：明治の終り頃通行の安全を祈願して、全国84000体の地藏建立の運動が高まり、相生の浜本氏の尽力で五体が造られ、その一体が昭和3年ごろこの地に安置された  
「相生ふるさと散歩」